

令和3年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中1 美術科
教科担当	金城 昂也
教科書名	美術 1
副教材名	沖縄の美術 美術資料

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

・予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中学生のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現 等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 美術科の学習について

学習のねらい	(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。 (2) 美術の基礎的な能力を伸ばし、地域文化についての理解を深め、豊かな感性を養う。
授業のすすめ方	・制作実技、鑑賞の2領域の活動を中心にすすめていきます。 ・レタリングの方法やデッサンの基礎、色相に関してや各名称等についても学習し、定期テストで知識技能の定着確認を行います。
学習上の留意点	(1) 基礎的な理論、技法を学習し、活用できるよう取り組む。 (2) より主体的に表現し、取り組めるよう意欲をもって授業に臨む。 (3) 互いに関わり合い、共感し合う場をつくり、学び合う姿勢を大切にする。

2 評価について

評価方法	関心意欲態度：授業に臨む姿勢がとわれます。忘れ物をしないこと、課題に集中して取り組むこと、私語や別のことをしないことが大切です。 発想構想：作品制作時の発想や構想の力を見ます。描くことが苦手な人も、独自の発想、アイデアを持って制作できれば評価が上がります。 技能：作品を制作する際の技能です。それぞれの単元において求められる基礎的な技法をマスターできるように頑張りましょう。 鑑賞：教科書、お互いの作品を鑑賞しまとめる力を見ます。
定期テスト	○定期テストは全3回（各学期1回） ○授業で取り組んだ題材から出題 ○授業内でやり取りした事からも出題 ○実技（簡単な描画など）も出題

4 授業を受ける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする
 - ・チャイムが鳴る1分前までに業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げる。(無言挙手) など
- 美術に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 実技が苦手でも、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 定期テスト前は、授業のプリントやワークをしっかりと取り組むこと。
- 夏休みの課題は必ず出せるよう計画的に取り組むこと。

令和3年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中2 美術科
教科担当	金城 昂也
教科書名	美術2・3上
副教材名	沖縄の美術 美術資料

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中学生のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標→目標を達成するための授業・活動→今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 美術科の学習について

学習のねらい	(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。 (2) 美術の基礎的な能力を伸ばし、地域文化についての理解を深め、豊かな感性を養う。
授業のすすめ方	・制作実技、鑑賞の2領域の活動を中心にすすめていきます。 ・レタリングの方法やデッサンの基礎、色相に関してや各名称等についても学習し、定期テストで知識技能の定着確認を行います。
学習上の留意点	(1) 基礎的な理論、技法を学習し、活用できるよう取り組む。 (2) より主体的に表現し、取り組めるよう意欲をもって授業に臨む。 (3) 互いに関わり合い、共感し合う場をつくり、学び合う姿勢を大切にする。

2 評価について

評価方法	関心意欲態度：授業に臨む姿勢がとわれます。忘れ物をしないこと、課題に集中して取り組むこと、私語や別のことをしないことが大切です。 発想構想：作品制作時の発想や構想の力を見ます。描くことが苦手な人も、独自の発想、アイデアを持って制作できれば評価が上がります。 技能：作品を制作する際の技能です。それぞれの単元において求められる基礎的な技法をマスターできるように頑張りましょう。 鑑賞：教科書、お互いの作品を鑑賞しまとめる力を見ます。
定期テスト	○定期テストは全3回（各学期1回） ○授業で取り組んだ題材から出題 ○授業内でやり取りした事からも出題 ○実技（簡単な描画など）も出題

4 授業を受ける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする
 - ・チャイムが鳴る1分前までに業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げる。(無言挙手) など
- 美術に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 実技が苦手でも、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 定期テスト前は、授業のプリントやワークをしっかりと取り組むこと。
- 夏休みの課題は必ず出せるよう計画的に取り組むこと。



令和3年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中3 美術科
教科担当	金城 昂也
教科書名	美術2・3下
副教材名	沖縄の美術 美術資料

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中学生のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 美術科の学習について

学習のねらい	(1) 表現及び鑑賞の活動を通して、創作活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。 (2) 美術の基礎的な能力を伸ばし、地域文化についての理解を深め、豊かな感性を養う。
授業のすすめ方	・制作実技、鑑賞の2領域の活動を中心にすすめていきます。 ・レタリングの方法やデッサンの基礎、色相に関してや各名称等についても学習し、定期テストで知識技能の定着確認を行います。
学習上の留意点	(1) 基礎的な理論、技法を学習し、活用できるよう取り組む。 (2) より主体的に表現し、取り組めるよう意欲をもって授業に臨む。 (3) 互いに関わり合い、共感し合う場をつくり、学び合う姿勢を大切にする。

2 評価について

評価方法	関心意欲態度：授業に臨む姿勢がとわれます。忘れ物をしないこと、課題に集中して取り組むこと、私語や別のことをしないことが大切です。 発想構想：作品制作時の発想や構想の力を見ます。描くことが苦手な人も、独自の発想、アイデアを持って制作できれば評価が上がります。 技能：作品を制作する際の技能です。それぞれの単元において求められる基礎的な技法をマスターできるように頑張りましょう。 鑑賞：教科書、お互いの作品を鑑賞しまとめる力を見ます。
定期テスト	○定期テストは全3回（各学期1回） ○授業で取り組んだ題材から出題 ○授業内でやり取りした事からも出題 ○実技（簡単な描画など）も出題

4 授業を受ける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする
 - ・チャイムが鳴る1分前までに業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げる。(無言挙手) など
- 美術に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 実技が苦手でも、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ学習では積極的に意見交換をして、表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 定期テスト前は、授業のプリントやワークをしっかりと取り組むこと。
- 夏休みの課題は必ず出せるよう計画的に取り組むこと。